

事務事業名	有害鳥獣被害防止対策支援事業		所属部局	農林商工部	単位番号	6242				
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	農林振興課	課長名	築野剛司				
			所属担当	農業振興担当	担当者名	折居慎也				
基本政策	基本計画体系 II	にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 06	項 01	目 03	細目 030	細々目 06
政策	07	農林水産業の振興	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	12	生産を支える基盤の整備充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度) 年度)		法令根拠	市農業振興事業補助金交付要綱						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・有害鳥獣被害対策として、啓発用パンフレットの作成、機材機具の修繕、捕獲用の檻の購入及び、捕獲した有害鳥獣に対する助成を行い農作物の被害を抑制する。 ・24年度から進入防止柵の自力施工を行なう場合に資材費負担金相当分の定額1/2補助率となった。			事業費の主な内訳 ( 24年度 決算見込 ) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 消耗品費 59 その他委託料 668 その他備品購入費 269 協議会・協会・団体補助金 1,105 計 2,101						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	24年度活動実績	25年度活動予定	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	有害鳥獣に悩まされている農業従事者			⇒
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	農作物への被害が減少する。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	農産物の安定した生産に繋がる 《生産を支える基盤の整備充実》		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

年		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円		300					
		地芳債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	741	1,801	1,798	1,800			
		事業費計(A)	千円	741	2,101	1,798	1,800	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1				
	延べ業務時間	時間	30	30	30	30				
	人件費計(B)	千円	119	119	119	119	0	0	0	
	(A)+(B)	千円	860	2,220	1,917	1,919	0	0	0	
活動指標	アイウ	円/頭	5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0				
対象指標	アイウ	人	4,296.0	4,296.0	4,296.0	4,296.0				
成果指標	アイウ	頭	1,300.0	1,400.0	1,500.0	1,500.0				
上位成果指標	アイ	億円	52.0	52.0	52.0	52.0				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	鳥獣被害が拡大し、農家からの支援要請が行われるようになったときから(時期は不明)
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	有害鳥獣被害は近年の農業にとって重要な問題のひとつであり、被害も甚大であるため、深刻な状況である。今後も、決定的な解決策はなく、手立てを講じていかないと被害は増加していく。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	鳥獣害に対する山間部の農家の要望は多く、被害の減少が強く望まれている。議員や幹部職員に対する要望活動も活発で、対応を迫られることが多い。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	有害鳥獣の対策として、電気柵等に対する設置費補助等の支援事業を拡大してきた。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	有害鳥獣被害防止対策支援事業	所属部	農林商工部	所属課	農林振興課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 拡大傾向にある有害鳥獣による被害を最小限度に食い止めることにより農業経営基盤の強化に結びつく
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 鳥獣被害は本市の基幹産業である農業にとって、深刻な問題であり、被害を防止するためには、税金投入が必要である 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 有害鳥獣の被害については、サルやカラスなど全域にわたってみられる。原状の施策だけでは、さらに被害面積が増加するおそれがある。このため、維持継続よりもより一層の対策を講じていく必要があり、事業の必要性を見直す必要はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 鳥獣の生態調査などを行い、どのような駆除方法が最も効率的であるか試行錯誤しながら、猟友会との連携を強化することで成果は向上する。しかし、猟友会メンバーも高齢化し減少傾向であるため、地域での対応方策も考えていかなければならぬ
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 対象が同じ鳥獣類であり、手法も猟友会等の狩猟によるもので、大変類似性が高い。他の自治体の多くは、1箇所を担当している。
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 他の駆除方策を持たないまま中止した場合被害が増大する 農作物の被害が増大し、農業離れが進み、耕作放棄地が増加する
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 農家等からの被害に対する対応策の依頼が増加してきている現状では、対策費を増やすことはあっても削減はできない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 活動は猟友会等であり、職員は連絡調整が主な業務となるが、管理捕獲業務など類似の業務を行う部署があるため、統合することで、マンパワーを集積させ、事業効果を高めることが可能。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 被害が、中山間地だけでなく市街地まで及んできており、市内全域が受益であるため、一部の受益者に偏っているということはない。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有害鳥獣の被害などへの苦情や相談は年々増えている。特に果樹や野菜の収穫に併せて猿、猪、シカに対する被害防止の要望が多く寄せられる。決定的な解決方法は現在のところ見当たらないので、少しでも被害を抑えられるよう新たな対策方法を関係機関とともに調査研究していく必要がある(H23記述)有害鳥獣対策に対する市民の要望は高まり、これまでの場当たりの対応を改め、組織的な総合対策を進める必要がある。担当者の見当ではなく、客観的な根拠に基づく科学的な手法により、効果的、効率的な対策を講ずる必要がある。また、相応な人的対応が必要。電柵については、施設規模が膨大になり、維持管理コストと、更新時の大きな財政負担が懸念される。
② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	※ 廃止・休止の場合は記入不要																					
①猿、鹿、猪、鳥などの生態系調査②猟友会やJAとの連携強化③有効な対策方法について先進事例などの調査を行う(H23記述) ④上記を具体化するため、電柵や猟友会、管理捕獲担当、有害鳥獣担当、地域住民、専門家などによる対策協議会を立ち上げ、場当たりの対応から総合対策に切り替えていく。 ⑤H24～25に、モデル地区を選定し、被害の深刻な猿の群の動向調査を行い、合理的かつ効率的な対策を講じる。併せて、協議会設立に着手する。	(5) 事務事業優先度評価結果																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	成果優先度評価結果 ①																					
①みどり自然課との協調が必要で、連携に留意する ②今年度導入予定のモデル事業(みどり自然課)との合理的な連携。 ③機構改革により、類似の事業を行なうみどり自然課の自然保護担当と統合する。(近隣、類似団体は、1担当) ④担当スタッフの充実・・・対象エリアが広範囲かつ、協議会設立準備など、2名専任程度の人数が必要。	コスト削減優先度評価結果 ⑫																					